

# NeXT朝日税理士法人ニュース

12月号 VOL. 030

## NeXT 朝日税理士法人

〒491-0873

一宮市せんい2-9-16 ササキセルムビル2F

電話：0586-75-5415 FAX：0586-75-5405

<http://next-asahi.jp>



### 重点管理富裕層名簿

最近、税務専門誌に報道されたところによると、国税当局には「重点管理富裕層名簿」というのがある。対象者は①保有資産が多額の者 ②一定規模以上の財産を有し、国際的租税回避が想起される者となっている。日本では金融資産5億円以上の超富裕層は5万世帯とされており、重点管理富裕層名簿は超富裕層クラスを対象にしているようだ。

「財産債務調査制度」、「国外転出時課税制度」（下記に詳しく）、「マイナンバー制度」と富裕層を取りまく環境は厳しくなっていく。

### 【出国税とも呼ばれる「国外転出時課税」とは】

平成二十七年度の税制改正において「国外転出をする場合の譲渡所得等の特例（国外転出時課税）」が創設され、平成二十七年七月一日から施行されました。

この制度は「出国税」とも呼ばれ、類似するものは欧米など世界各国においてすでに導入されています。税率を意図的に低くしている国や地域で株式などの資産を売り、課税を逃れるのを防止することが目的とされています。対象となる資産は、国外転出をする時点で1億円以上になる有価証券や未決済の信用取引などになります。具体的には、株式や投資信託などの有価証券、匿名組合契約の出資の持分、未決済の信用取引・発行日取引及び未決済のデリバティブ取引（先物取引・オプション取引など）が対象資産に該当します。これらを所有等している一定の居住者に対し対象資産の譲渡等があったものとみなして、その対象資産の含み益に対して所得税が課税されます。

国外転出後に確定申告書を提出する場合には「国外転出時の対象資産の価額」、国外転出前に確定申告書を提出する場合には「国外転出予定日の3カ月前の日の対象資産の価額」で納税額が計算されます。なお、一定の手続をすることで納税猶予制度や税額を減額するなどの措置を受けることができます。また海外移住だけでなく1年を超すような海外転勤や留学も含まれるので注意が必要です。



## 袖振り合うも多生の縁！～ステキな顧問先をご紹介します♪

### 【坪井健樹園 様】

500坪を超える広い敷地に1000種類以上の季節のお花が勢揃い。観葉植物や苗などの販売から、胡蝶蘭などお花のプレゼントまで幅広く取り扱っています。全国配送も可能です。

名古屋市市中川区高畑2丁目192番地 電話 052-361-3368

営業時間 9:00～17:00 定休日 1/1～1/3 ホームページ [www.kenjuen.com/](http://www.kenjuen.com/)



## 【今月の教えてキーワード：不正競争防止法】

企業同士が公正に競争すること  
を促す法律で、営  
業秘密侵害や原  
産地偽装、コピー  
商品の販売など  
を規制する。19  
34年に制定さ  
れ、2003年の  
改正では顧客名  
簿や技術・販売ノ  
ウハウといった  
営業機密の不正  
取得に関する規  
定が追加された。  
2015年7月  
に改正法が可決  
し、海外への流出  
防止に重点を置  
いた不正取得へ  
の罰則強化、企業  
へのサイバー攻  
撃が未遂であつ  
ても刑事罰の対  
象となるといっ  
た点がポイント  
となっている。

## 【お金を手にして分かったこと】

「除」には「古いものを捨てて新しいものに移る」という意味があります。ですから、古い年から新しい年に移る大晦日の「夜」を「除夜」というようです。除夜には、暮れゆく年を惜しみつつ一年を締めくくる様々な行事が行われます。108回突かれる除夜の鐘もそのひとつです。ところで「108」という数は一般的に「煩惱の数」とされています。そもそも煩惱とは自分を悩ませるものや心を乱すもののこと。仏教の根本的な考え方というとな人の煩惱は大きく3つあり、まとめて「三毒」と呼ばれるそうです。

1つ目は「貪（とん）」、必要以上に欲しがること。2つ目は「瞋（じん）」、自分の心に執着して思い通りにならないと怒ること。3つ目は「痴（ち）」、無知で愚かな考え方にとらわれること。要するに「欲」と「怒り」と「愚かさ」が私たち人間を悩ませ、心を乱すのでしょうか。欲の対象はモノに限りません。「もっと〇〇だったら」と人をうらやむことも欲の一種です。もとより思い通りにならないのが世の中なのに、自分の考え方に執着していると、いつもイライラしながら暮らすことになりかねません。そうやって自分で煩惱を生み出してしまふのが人間の愚かさなのでしょう。ある資産家がしみじみ話していたそうです。それは「人間、どうしたって不安は消えない」ということです。お金がないのは不安だけれど、あればあつたで今度は「このお金が減ったらどうしよう」と不安になるし、経済的に満たされても健康や人間関係の不安はつきまとう。商売で成功し、お金持ちになってはじめて

「いくらお金があつても不安は消えないことが実感できた」というその人は、改めて「幸せって何だろう」と考えてみたそうです。その答えはあっけないほどシンプルでした。いわく、「今この瞬間を幸せだと思えることが幸せである」と。煩惱は十人十色でも、人生は「今」の積み重ねであることに変わりはありません。つまり商売の成功も「今」の積み重ねだということでしょう。今年も残りわずかです。「今」を悔のないように商売に励みたいものですね。



過去が嘆いている今  
未来の夢で一杯な今

今を生きる！

## 先人の言葉

日本の陶芸家である河井寛次郎の言葉。過去を悔やんでも時間は元には戻らない。まだ見ぬ未来を心配しても仕方がない。「今」を精一杯生きることに専念しよう。

## 《無料相続相談》実施中です

皆様のお近くにお困りの方、不安をお持ちの方がおみえでしたらお気軽にお声をかけて下さい。

TEL 0586-75-5415

「相続手続き便利帳」

プレゼント！



まずはご予約のお電話を下さい。